

時間割			
	開始時間	終了時間	
	07:30	07:50	ボキャブラリーテスト
1限	08:00	08:50	
2限	09:00	09:50	
3限	10:00	10:50	
4限	11:00	11:50	
5限	13:00	13:50	
6限	14:00	14:50	
7限	15:00	15:50	
8限	16:00	16:50	
9限	17:00	17:50	スペシャルクラス

毎日ボキャブラリーテストがあります。
ボキャブラリーテストに参加しなかった日は外出禁止です。
週2回欠席の場合土日の外出を禁止します。
ボキャブラリーテストを欠席した日の午後2時までにエッセイを書き
ヘッドティーチャーへ提出し許可が出た場合出席扱いになります。

*学習方針を考慮します。ボキャブラリーテストに参加できない理由を校長
もしくはマネージャーに伝え、許可を得たのち参加者リストから
名前を削除することが出来ます。必ず許可を得てください。

テスト

- 毎月最後の木曜日にレベルテストがあります(4週間以下の方は必要なし)
午前 11:00~12:00、聴解・文法・書き順で行います。 特講は無し。
- Speakingのテストは毎月最後の火曜または水曜日マンツーマン授業の間に試験を行います。
- TOEICの模擬試験を1カ月に2度行っています。ご希望の方はヘッドティーチャー
またはマネージャーに希望の旨を伝えてください。

スケジュールの変更

- 毎週月曜から火曜日に次週のスケジュールの予約を行います。
- SSにあるRESERVATION BOXにRESERVATIONシートを記入して入れてください。
(先着順ではありません。)
- 予約をした生徒は水曜日に張り出される新しい時間割を確認してください。
- 予約が出来なかった生徒は
木曜日の朝9時から11時30分、13時30分から15時30分
までに ヘッドティーチャーのオフィスに行き変更の旨を伝えてください。
- 新入生は最初の2週間はマンツーマン授業の変更不可です。
- 当日の変更は不可能。変更後は月曜日から開始
- 指定の時間以外には授業の変更はできません。
- 授業を追加することが出来ます。マンツーマン 5000ペソ/ 1か月
グループクラス 2500ペソ/1か月

授業の規定

- 授業は一日8時間になっています。
- 出席率が80%未満の場合 マンツーマン授業を1つ削除します、80%以上に
戻った場合、授業を取り戻すことが出来ますが、同じ先生ではありません。
- 出席率が90%未満の場合、週末の外泊制限、85%未満になった場合、週末の外泊制限
及び外出制限 80%以下の場合、外泊制限及び、外出制限(平日、週末)
- スケジュール以外の受講は不許します。2回摘発された場合、2時間の受講を受ける
ことができません。
- 遅刻3回は欠席1回にします。
- 各授業の5分以上参加していない場合、欠席となり、授業に参加できません。
- 授業時間および休憩時間を守ってください。

●正式授業時間内(午後 4:50まで)は外出禁止です。外出(病院など)の場合は学校の承認後外出出来ます。

●卒業前、最終の週は平日でも何時でも自由に外出出来ます。*出席率に反映します。

修了証

●4週間以上の研修で総出席率の95%以上に達した学生のみ修了証を発布します。

ライブラリー

●食べ物の持ち込みは禁止です。(飲料は可能)

●24時間利用可能です。他の学生のため、きれいに使いましょう。

●席の確保は出来ません。(ライブラリーに置いてある私物は本人の許可なく撤去します。)

●ライブラリーではGATE PASSを使用してください。GATE PASSがないものは誰でも撤去することが出来ます。

●毎朝7時30分にボキャブラリーテストがある為すべての荷物を撤去します。

●ライブラリーに荷物を置くことを禁じています。私物がなくなった場合 JICは一切の責任を持ちません。

食堂

●朝 07:00 - 08:00 (週末及び祝日 08:00-09:00)

●昼 12:00 - 13:00

●夕 17:30 - 18:30

●食事の時間を守ってください。**食事は時間内に終わらせてください。**

●キムチ、コップ、スプーン全ての物品、食べ物は搬出できません。

●食べ物、食堂も物を持ち出しが発覚した場合1度目は注意しますが、2度目は退学処分となります。

●現地の市場の事情により、メニューが変わることがあります。

施設

●売店の利用時間07:00-22:00(土、日 曜日・祝日09:00-18:00)

●プール 08:00-22:00(平日は授業の終了から利用可能)シャワーの後、入ること。寮内に水の音が響きます。時間を守ってください。

●エレベーター:可動時間 07:00-24:00

カフェテリア:07:00-22:00(土、日 曜日・祝日09:00-18:00)

●ビル内に火災報知器作動中—自分のあやまちによる火災報知器の誤作動の際、他人の被害は本人が責任を持ちます。

●内線電話:部屋の番号でつながります。(SS 内線0)

●ジム:08:00-22:00(土、日 曜日・祝日09:00-18:00)

●無線インターネットの接続(パスワード:c e b u j i c n e t)

●SS(Student Service)8:00-17:00(土、日曜休)

●紛失及び破損:鍵200ペソ IDカード200ペソ, GATEパス, カギストラップ,:200ペソ

掃除・洗濯

●掃除:月一金各部屋のスケジュールによる。(週3回1日おき)

●洗濯—利用時間:月、水、金 09:00-13:30

—位置:カフェテリアの隣

—洗濯カゴを洗濯室に持って行く、洗濯物の確認の後、2~3日後に出来上がります。

—天気の関係で受け取れない日もあります。

—注意:高価の衣類やドライを要する服は本人が直接に洗濯してください。靴・かばんは洗濯できません。海など、外から濡れた服を袋に保管すると、脱色または変色する場合があります。手洗いや乾燥した状態で出してください。

—ベッドカバーや枕カバーは2週に1回交換します。

—変色した場合も責任は負えません大切な服は自分で洗濯しましょう。

寮の利用規定

- 寮の施設の保護のため、入室の時2500ペソの保証金をいただきます。研修最終日に電気代、施設のチェック後、返金します。
- 寮内に酒類の搬入は禁止します。一回でも発覚した場合退学となります。どのような理由も受付ません。
- タバコは指定場所をご利用ください。各階にある非常口は喫煙エリアではありません。指定場所以外での喫煙は火事の原因となります。即退学になります。
- 部屋の施設の修理が必要な場合、SSまで来てください。
- 男女が同じ部屋にいることは禁止します。（即退学）
- 3階は男性のフロアで女性は出入り禁止です。5階は女性のフロアで男性は出入り禁止です。
*即退学になります。
- 学生以外に寮の出入り及び宿泊は禁止します。
- 他人に迷惑な行為（窃盗、喧嘩、物の破損など）があった場合、即退校
- 団体生活をすることにより、ルームメイトや同期、先生に不快な思いを与えないよう常に清潔を維持することをお願いします。暑い環境によってたくさん汗をかきます。こまめにシャワーをすることで汗の匂いを防ぎましょう。また、食後には歯を磨き、お互いに不快感を与えないよう努力することをお願いします。
- 即退学の場合、一さの返金はありません。すみやかに退学してください。

終了日・RETURN CONFIRM・退室の規定

- 帰国の日付は学校の終了と合わせて本人が直接航空券の確定を行ってください。
- 研修終了後、日曜日までに退室を原則とします。

電気代

- 電気代は最終金曜日に完納してから退室します。
- 水道代は無料です

登録の延長・払い戻し

- 延長：学校の登録延長を希望する学生は少なくとも1週単位で延長の申し込みが可能です。そして修了日から4週間前には申し込みをお願いします。登録延長の申し込みは書面で提出されないといけません。該当の費用は修了3週間までお支払いをお願いします。
- 払い戻し：授業開始後 **50%以上の残余研修期間** に関しての払い戻しは週単位で計算し、残りの授業料や寮費から最終週を除外した**50%** を払い戻します。
50%未満の残余研修期間に関して**払い戻しはできません。**
4週間以下の登録の方への払い戻しは一切ありません。
払い戻しの場合、値引きされた金額は控除されます。（本払い戻しの規定は過程変更、寮のタイプ変更など、全ての払い戻しに適用されます。）

SSP

“Special Study Permit”の略字であり、フィリピンで合法的に勉強するため、必ず必要な許可証です。SSP無しではフィリピンで勉強することはできません。SSP無しで勉強しながら摘発された場合、2万ペソほどの罰金を払い、法的な処罰を受けることとなります。SSPはフィリピン到着2週間後から発給され、希望する学生は確認することができます。コースの修了後、帰国する時に修了証・成績表とともに渡すことになり、空港で非常の時、提出しなければならないこともあります。***SSPはビザとは別です。**

防疫

- 毎月の第3土曜日に月1回の防疫があり、10:00-14:00寮の出入り禁止。窓を開けて布団・衣類などをクロゼットに入れてから退室してください。

旅行計画書・外泊の申請

●旅行計画書

SSにある旅行計画書を記入し金曜日4時までにヘッドティーチャーに提出してください。時間外は受付ません。

●授業の出席率が80%未満の方は旅行には行かれませんが、

●旅行は週末のみ許可します。

●最終研修週の生徒は平日も旅行に行くことができます。

祝日

●フィリピンの現地法に従います。

大統領令により急に休日が決まる場合もあります。ご了承ください。

門限

●門限は学生たちの安全や学業の能率向上のために実施しています。

●門限の規定案内

次の日授業がある場合門限は午後10時で、翌日授業がない場合は午前12時になります。

以上の時間を破った場合、次のように措置します。

- 1次警告： 門限以後の帰り

- 2次警告： 1次警告の後、また門限以後の帰り

- 最終警告： 2次警告の後、また門限以後の帰り、agencyや
家族に通報。1週間の外出禁止。

- 退校命令：最終の警告の後、外出禁止期間（1週間）の内に出かけた人、
外出禁止期間の内にまた門限を破ったら、払い戻し無しで退校。

- 警告は2週間蓄積されます。

注意事項

●高級のカバン・財布・アクセサリ・携帯電話などは強盗に狙われるおそれがあります。

●学校の外部では携帯電話の使用はご遠慮ください。

●強盗に遭った時は相手が要求するものを渡して、声を上げたり対抗したりしないで
ください。

●短いスカートや派手な身なりはご遠慮ください。

●現地の人が集まる祭りなどにはいつもスリがいる可能性があります。

●夕方以降の一人歩きはしないでください。

●移動のときは徒歩やジプニーは避けて白いタクシーを利用してください。

黄色は空港専用の為、割高です

施設物の管理

●皆さんの快適な環境を作るため、各種の施設に対する点検及び修理を授業の間に学
生の同意無しで行うことがあります。

禁止事項

● JICではカジノでの賭博行為を禁止しています。

賭博行為が発覚した場合、即退学です。

● 賭け事の先駆けになるため、全てもカードゲームが禁止です。
日本から持ってこないでください。

● 蚊取り線香やアイロンで以前小火がありました。使用禁止です。

● 校内で料理禁止、ケトルやコンロを持ち込まないでください。

ビザの延長

●フィリピンの英語研修及び旅行でいる外国人は必ず毎月のビザ延長が必要になります。ビザの延長をしないとフィリピン法で不法滞留者またはブラックリストに登録されるおそれがあります。

●フィリピンは30日まではビザ無しで滞在ができます（日本人）。

30日以上滞り予定の人はビザの延長が必要です。

●学校の終了から外で生活を希望する学生は直接ビザの延長を行ってください。

●Annual fee:11月以前にフィリピンに入国して次の年までビザを延長する場合、賦課金（約310ペソ）がかかります。

●海外旅行の予定がある場合、前もって知らせてください。（延長費用の節約のため）

●ビザの延長はフィリピンの移民局で管理しますので、一方的に引き上げられることがあります。

●オリエンテーション当日、準備するもの

パスポート、証明写真

4週間4枚 8週間4枚 12週間6枚、

16週間6枚 20週間7枚 24週間8枚

***証明写真の規定が厳しいです。**

背景は白のみ、サイズ（縦5×横5）です。

少しの影も受付けてもらえません。現地での撮影を勧めています。

現地で100ペソ（2015年）で撮影が可能です

1- 4週 デポジット(2500)+SSP(6500)=9000ペソ

5- 8週 VISA(3330)+デポジット(2,500)+SSP(6,500)=12330ペソ

9-12週 VISA(6920)+デポジット(2,500)+SSP(6,500)+ACR(3000)=18920ペソ

13-16週 VISA(9550)+デポジット(2,500)+SSP(6,500)+ACR(3000)=21550

17-20週 VISA(12180)+デポジット(2,500)+SSP(6,500)+ACR(3000)=24180

21-24週 VISA(14810)+デポジット(2,500)+SSP(6,500)+ACR(3000)=26810

住所：Limbong street, corner C-Mina, Mabolo, Cebu city

（タクシーの運転手さんには mabolo church, limbong streetと説明）

連絡先：Lucas - 0977-207-7992

Office ++63-32-233-3559

緊急時連絡先

Lucas（韓国人Director） - 0977-207-7992

YUMI（日本人マネージャー） 0928-358-8430

E-mail cebujiinfo@gmail.com

SS（スチューデントサービス）内線 0

*学校1階フロアに学生マネージャーやスタッフの電話番号も貼ってあります。

日本人マネージャーが出なかった場合、ルーカスディレクターか学生マネージャーに電話してください。

「This is 自分の名前 of JIC student. I need your help」で通じます。

韓国の友達に手伝ってもらっても良いと思います。

困った事があったら連絡してください。

ジャパニーズヘルプデスク（JAPANESE HELPDESK）

ジャパニーズヘルプデスクへは学校スタッフが代表して連絡を取っています。

緊急時以外は、学校マネージャーへ具合が悪い旨を伝えてください。

◆Mimi（大越）（日本語可） 0917-639-9879 / 032-316-6390

◆Flynn 0917-513-5542 / 032-316-6025

ジャパニーズヘルプデスクは下記のセブドクターズホスピタル内にあります。

Cebu Doctors' University Hospital

RM202 Admin. Bldg., Cebu Doctors' University Hospital

Osmena Blvd., Cebu City

Tel: [+63 32-318-6507](tel:+63323186507)

グループクラスの説明です。初日 スピーキングテスト後にグループクラスを選択する必要があります。

1、CONVERSATIONクラス(人との会話、対談)の意味。

このクラスは、JIC唯一のカナダ人講師の授業。教科書を題材に、ストーリーの解説、自分自身の体験などを話す。対話を中心とした授業です。全レベル対象。

2、COMPOSITION and Writingクラス(構成、組み立て)の意味。

writingのスキルアップを目指す授業。日によってテーマが変わり、エッセイやストーリーを指定された単語、熟語を使用して作成していき、最後に添削、間違えたところの解説。writingが中心ですが単語のみで話がちな方は正しい構成を覚える事ができます。全レベル対象

3、TOEIC Listening TOEICのスコアアップを目指す授業。

本試験の類題を使用して授業を進め、問題を解いたあとの解説では、講師だけではなく生徒も答えについて説明しなくてはならない。

中級者向け(1から英語を学習する人には難しい)

4、PUBLIC SPEAKING スピーキングを伸ばした人におすすめの授業。先生から毎回異なった分野の問題が出され、それに対して生徒が答え、議論する。

金曜日にはゲームをするなど、柔軟性のある授業です。全レベル楽しめる授業。

5、GRAMMER (文法) 文法を基礎から勉強する授業。

教科書を使用し講師が解説したのち類題を解く。中学レベルの基礎から学べる。毎日課題が出されるため、自習が苦手な方におすすめ。writingが中心です。

6、CNN 海外のニュース番組であるCNNを教材として使う。

トピックを生徒が選ぶ。ニュースを見ながら単語を拾う→リーディングの練習→新しく出た単語を使い作文の練習→書き取り。という流れ。

1つのニュースを理解していく中で、リスニング、単語のボキャブラリー増強、作文力、発音矯正の勉強ができる。簡単なトピックから選択出来るので初級者も参加できる。

7、BUSINESS ENGLISH

新しく出来たビジネス英語のクラスです。ビジネスで使うやわらかい言い回しや発音、ビジネス単語を学びます。週に1度プレゼンテーションがあります。